

第2章 山形県における自殺の現状と課題

1 自殺者数の推移

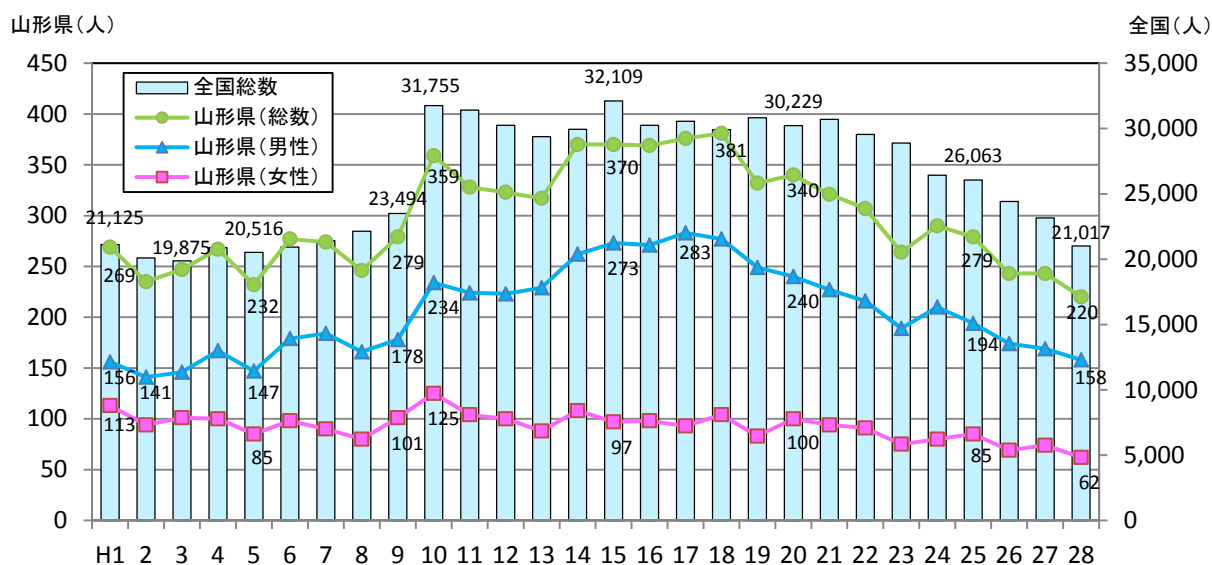
山形県の自殺者数（実数）は、平成10年の急増以降年間300人を超えて推移していましたが、平成18年の381人をピークに減少傾向にあり、平成28年には220人と、急増前を下回る水準となっています。

性別で見ると、男性の自殺者数の推移は総数の推移とおおむね同様で、平成10年に急増し、その後減少に転じています。女性の自殺者数は横ばいで推移してきましたが、近年緩やかに減少しています。

自殺者数は男性が多く、平成11年以降は女性の2倍を超える状況にあります。

<表1>

全国の自殺者数（総数）・山形県の自殺者数（総数・性別）の年次推移



	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
全国総数	21,125	20,088	19,875	20,893	20,516	20,923	21,420	22,138	23,494	31,755	31,413	30,251	29,375	29,949
山形県(総数)	269	235	247	267	232	277	274	246	279	359	328	323	317	370
山形県(男性)	156	141	146	167	147	179	184	166	178	234	224	223	229	262
山形県(女性)	113	94	101	100	85	98	90	80	101	125	104	100	88	108

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全国総数	32,109	30,247	30,553	29,921	30,827	30,229	30,707	29,554	28,896	26,433	26,063	24,417	23,152	21,017
山形県(総数)	370	369	376	381	332	340	321	307	264	290	279	243	243	220
山形県(男性)	273	271	283	277	249	240	227	216	189	210	194	174	169	158
山形県(女性)	97	98	93	104	83	100	94	91	75	80	85	69	74	62

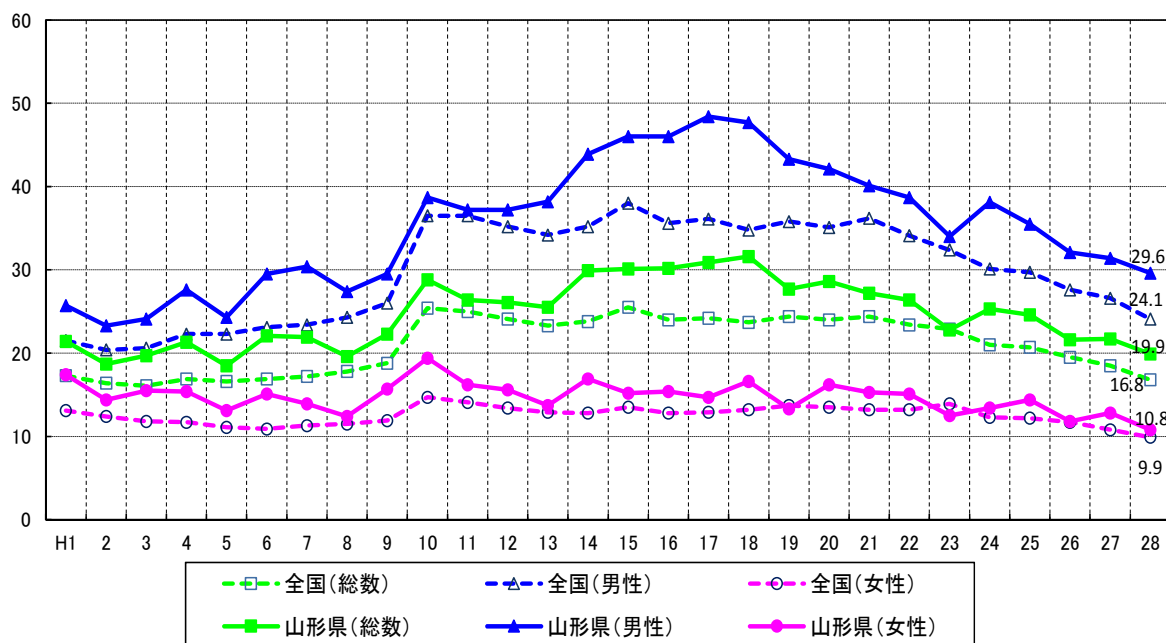
2 自殺死亡率の推移

山形県の自殺死亡率は、平成 28 年は 19.9 で、全国の 16.8 に比べ高く、全都道府県中 7 番目に高い数値となっています。

性別では、いずれも全国より高くなっていますが、全国との差は男性の方が大きくなっています。

<表 2>

全国・山形県の自殺死亡率（総数・性別）の年次推移



		H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
総数	全国	17.3	16.4	16.1	16.9	16.6	16.9	17.2	17.8	18.8	25.4	25.0	24.1	23.3	23.8
	山形県	21.4	18.7	19.7	21.3	18.5	22.1	21.9	19.6	22.3	28.7	26.3	26.1	25.7	30.1
男性	全国	21.5	20.4	20.6	22.3	22.3	23.1	23.4	24.3	26.0	36.5	36.5	35.2	34.2	35.2
	山形県	25.7	23.3	24.1	27.6	24.4	29.7	30.4	27.4	29.4	38.7	37.1	37.2	38.3	44.0
女性	全国	13.1	12.4	11.8	11.7	11.1	10.9	11.3	11.5	11.9	14.7	14.1	13.4	12.9	12.8
	山形県	17.3	14.4	15.5	15.4	13.1	15.1	13.9	12.4	15.6	19.4	16.2	15.6	13.8	17.0

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
総数	全国	25.5	24.0	24.2	23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5	16.8
	山形県	30.2	30.3	31.1	31.7	27.9	28.8	27.4	26.4	22.8	25.3	24.6	21.6	21.7	19.9
男性	全国	38.0	35.6	36.1	34.8	35.8	35.1	36.2	34.2	32.4	30.1	29.7	27.6	26.6	24.0
	山形県	46.1	46.1	48.5	47.8	43.4	42.2	40.2	38.6	34.0	38.1	35.5	32.1	31.4	29.6
女性	全国	13.5	12.8	12.9	13.2	13.7	13.5	13.2	13.2	13.9	12.3	12.3	11.7	10.8	9.9
	山形県	15.3	15.6	14.9	16.7	13.4	16.3	15.4	15.1	12.5	13.4	14.4	11.8	12.8	10.8

厚生労働省人口動態統計

3 「地域自殺実態プロファイル（2017）」における本県の自殺の主な特徴

自殺総合対策推進センターが作成した「地域自殺実態プロファイル（2017）」では、過去5年間の自殺者を性別・年代別・就業の有無別・同居人の有無別で区分し、山形県の主な自殺の特徴として下表のとおり示しています。

〈表3〉を見ると、自殺者数は、男性60歳以上無職同居が最も多く、次いで女性60歳以上無職同居となっています。

また、3位から5位は男性で、40歳から59歳の有職者、20歳から39歳の有職者、40歳から59歳の無職者となっています。男性は広い年齢層で職業の有無を問わず上位にあるのに対し、女性の自殺者は60歳以上の無職者に偏る傾向が見られます。

〈表3〉

山形県の主な自殺の特徴（警察庁自殺統計特別集計（自殺日・住居地、H24～28 合計））

上位5区分	自殺者数 5年計	割合	自殺死亡率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:男性60歳以上無職同居	208	16.0%	44.8	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位:女性60歳以上無職同居	166	12.8%	19.7	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3位:男性40～59歳有職同居	138	10.6%	23.7	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
4位:男性20～39歳有職同居	105	8.1%	25.4	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺
5位:男性40～59歳無職同居	89	6.9%	215.3	失業→生活苦→借金+家族間の不和→うつ状態→自殺

順位は自殺者数の多さにもとづき、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順とした。

*自殺死亡率の母数（人口）は平成27年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計した。

**「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書2013（ライフリンク）を参考にした。

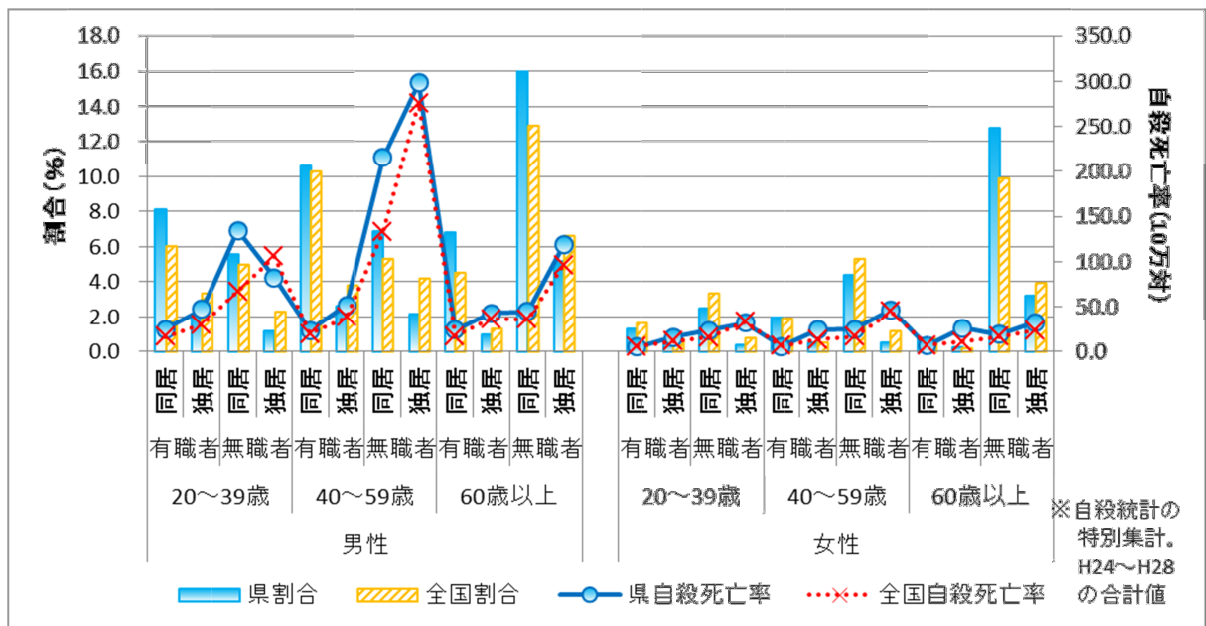
＜表4＞で自殺死亡率をみると、男性の40歳から59歳無職独居が最も高く、次いで男性の40歳から59歳無職同居となっており、他の区分に比べ著しく高くなっています。

また、同居と独居を比較すると、ほとんどの区分で同居に比べ独居の自殺死亡率が高くなっています。

＜表4＞

山形県の自殺の概要（グラフ）

（警察庁自殺統計特別集計（自殺日・住居地、H24～28合計））

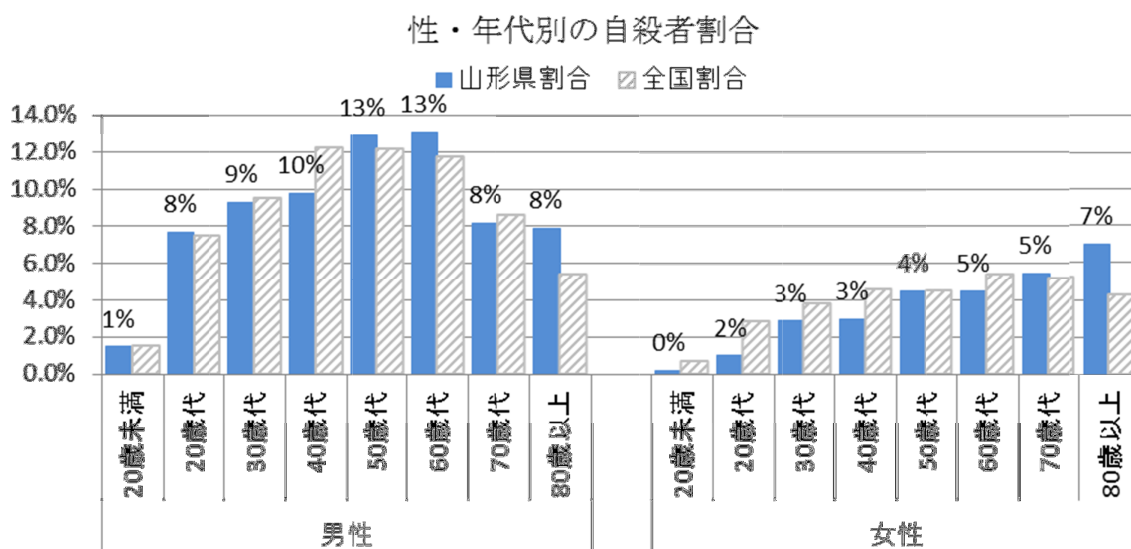


＜表 5－1＞性・年代別の自殺者割合を見ると、男性では40歳代の割合が全国に比べ低く、50歳代、60歳代、80歳以上が高くなっています。女性では、40歳代以下の割合が低く、80歳以上の割合が高くなっています。

＜表 5－2＞自殺死亡率を見ると、男性は、全年代で全国に比べ高く、特に20歳代、30歳代、80歳以上で全国との差が大きくなっています。女性は、おむね全国と同程度ですが、70歳代以上で全国より高くなっています。

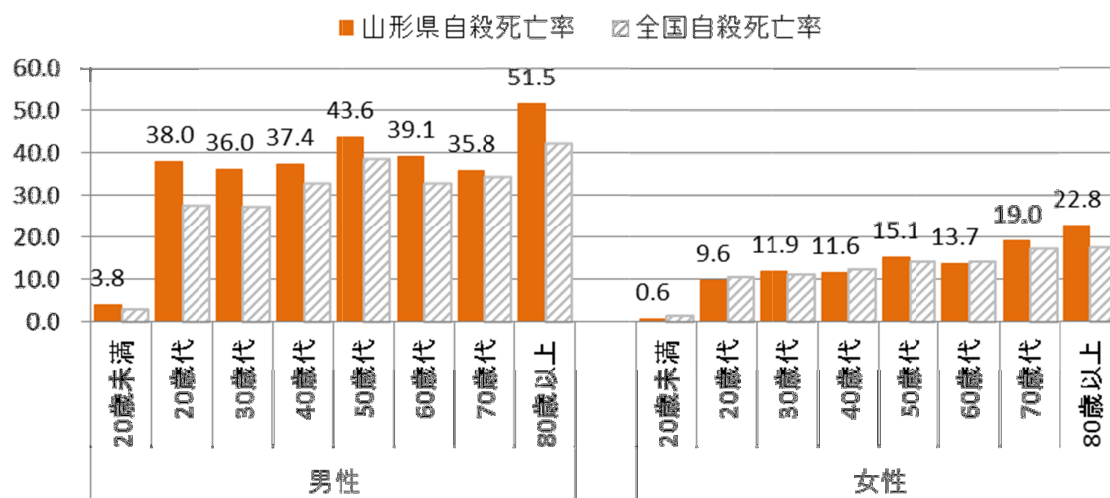
＜表 5－1＞

性・年代別（H24～28年平均）（警察庁自殺統計（自殺日・住居地））



＜表 5－2＞

性・年代別の自殺死亡率（10万対）



<表6>有職者の内訳をみると、自営業・家族従業者の自殺者の割合が全国と比べ高くなっています。

<表6>

有職者の自殺の内訳（警察庁自殺統計特別集計（自殺日・住居地、H24～28 合計））

（性・年齢・同居の有無の不詳を除く）

職業	自殺者数	割合	全国割合
自営業・家族従業者	139	28.9%	21.4%
被雇用者・勤め人	342	71.1%	78.6%
合計	481	100.0%	100.0%